



1. 学科課程

学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考	
			1年次以上 履修可	2年次以上 履修可	3年次以上 履修可	4年次以上 履修可			
			前通後	前通後	前通後	前通後			
C o r e E n g l i s h S p e a k i n g	1001	Basic Speaking I (Integrated)	②				ジョセフ・ラケット ☆		
	1002	(A)	②				メアリー・ヴァーヅル ☆		
	1003	(B)	②				ティモシー・フランクリ ☆		
	1004	(C)	②				スティーヴン・パロー ☆		
	1005	(D)	②				カレン・クライン・カタヤマ ☆		
	1006	(E)	②				デビッド・アンダーソン ☆		
	1007	(F)	②				ウィリアム・アンダーソン ☆		
	1008	(G)	②				フライアン・バーンズ ☆		
	1009	(H)	②				アン・ミラー ☆		
	1010	(I)	②				ケンレイ・フリーゼン ☆		
	1011	Basic Speaking II (Integrated)		②			ジョセフ・ラケット ☆		
	1012	(A)		②			メアリー・ヴァーヅル ☆		
	1013	(B)		②			ティモシー・フランクリ ☆		
	1014	(C)		②			スティーヴン・パロー ☆		
	1015	(D)		②			カレン・クライン・カタヤマ ☆		
	1016	(E)		②			デビッド・アンダーソン ☆		
	1017	(F)		②			ウィリアム・アンダーソン ☆		
	1018	(G)		②			フライアン・バーンズ ☆		
	1019	(H)		②			アン・ミラー ☆		
	1020	(I)		②			ケンレイ・フリーゼン ☆		
			Academic Communication I		②			☆	
			Academic Communication II			②		☆	
			Discussion and Debate I			②		☆	
			Discussion and Debate II				②	☆	
		1101	Basic Reading I (A)		②			マイケル・ハース ☆	
		1102	(B)		②			デイビット・フレナー ☆	
		1103	(C)		②			デビッド・アンダーソン ☆	
		1104	(D)		②			デニス・クイン ☆	
		1105	(E)		②			デイビット・フレナー ☆	
		1106	Basic Reading II (A)		②			マイケル・ハース ☆	
		1107	(B)		②			デイビット・フレナー ☆	
		1108	(C)		②			デビッド・アンダーソン ☆	
		1109	(D)		②			デニス・クイン ☆	
	1110	(E)		②			デイビット・フレナー ☆		
		Academic Reading I		②			☆		
		Academic Reading II			②		☆		
	1141	Basic Composition I (A)		②			ピーター・リームスト ☆		
	1142	(B)		②			アラン・ボゼア ☆		
	1143	(C)		②			ダイアナ・シュガーマン ☆		
	1144	(D)		②			ハリー・クリゲン ☆		
	1145	(E)		②			スティーヴン・パロー ☆		
	1146	(F)		②			ジョン・カートライト ☆		
	1151	Basic Composition II (A)		②			ピーター・リームスト ☆		
	1152	(B)		②			アラン・ボゼア ☆		
	1153	(C)		②			ダイアナ・シュガーマン ☆		
	1154	(D)		②			ハリー・クリゲン ☆		
	1155	(E)		②			スティーヴン・パロー ☆		
	1156	(F)		②			ジョン・カートライト ☆		
		Academic Essay I		②			☆		
		Academic Essay II			②		☆		
	1177	英文法クリニック (A)		②			高橋克依	1年次クラス	
	1178	(a)		②			高橋克依	再履修クラス	

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則として I、II のように番号のある科目については、I から連続して履修すること。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考	
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可			
			前通後	前通後	前通後	前通後			
コース I 基礎 演習	1191	基礎演習 I (A)	②				斎藤彩世		
	1192	(B)	②				島田桂子		
	1193	(C)	②				江口均		
	1194	(D)	②				中地美枝		
	1195	(E)	②				長谷川典子		
	1196	(F)	②				高野照司		
	1197	(G)	②				柳町智治		
	1198	(H)	②				湊史		
			基礎演習 II		②				
	入門 科目	1602	イギリス文学概論	2	2			島田桂子	
1641		アメリカ文学概論	2				斎藤彩世		
1661		Introduction to Fiction Writing		2			ピーター・グレイ	☆	
1606		演劇概論		2			高橋克依		
1662		Introduction to English Linguistics	2				ジョセフ・ラケット	☆	
1643		応用言語学概論		2			柳町智治		
1663		英語コミュニケーション概論	2				湊史		
1664		Introduction to Digital Media	2				ロバート・トムソン	☆	
1614		社会言語学概論	2				高野照司		
1665		グローバル・スタディーズ概論		2			中地美枝		
1616	異文化コミュニケーション概論 I	2				長谷川典子			
		異文化コミュニケーション概論 II		2				2019年度開講せず	
英語 関連 活動		英米史 A			2				
		英米史 B				2			
		欧米文化論 A			2				
		欧米文化論 B				2			
		欧米文化論 C			2				
		欧米文化論 D				2			
		キリスト教と文学			2				
英語 関連 活動		English Practicum I	2				江口均		
		English Practicum II		2					
		English Practicum III			2				
		English Practicum IV				2			
		Overseas English Studies I	4				江口均		
		Overseas English Studies II		4					
		Overseas English Experience I	2				江口均		
		Overseas English Experience II		2					
		Overseas English Experience III			2				
		Overseas English Experience IV				2			
	海外英語短期研修	4				江口均			
	海外プロジェクト研修 I		2						
	海外プロジェクト研修 II			2					
コース 専攻 科目		英米文学史 A			2				
		英米文学史 B				2			
		イギリス小説研究 A			2				
		イギリス小説研究 B				2			
		アメリカ小説研究 A			2				
		アメリカ小説研究 B				2			
		英米詩研究 A			2				
		英米詩研究 B				2			
		演劇研究 A			2				
		演劇研究 B				2			
		専門演習 I			②				
		専門演習 II				②			
		専門演習 III					②		
		専門演習 IV						②	
	卒業研究 I						②		
	卒業研究 II						④		

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則として I、II のように番号のある科目については、I から連続して履修すること。

注 「英語関連活動」の科目の履修登録は、参加をもって代える。海外研修の参加とそれに伴う課題提出により単位修得ができる。

ただし、海外英語短期研修及び海外プロジェクト研修 I・II は、事前調査を行い履修希望者が少ない場合は開講しない。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目

履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
		1年次以上履修可	2年次以上履修可	3年次以上履修可	4年次以上履修可		
		前通後	前通後	前通後	前通後		
コース専門科目	言語・コミュニケーションコース	英語学 研究 A 英語学 研究 B 英語学 研究 C 英語学 研究 D 英語学 研究 E 英語学 研究 F 専門演習 I 専門演習 II 専門演習 III 卒業研究 I 卒業研究 II			2 2 2 2 2 2 ② ② ② ② ④		
	グローバル・スタディーズコース	グローバル・イシューズ グローバル・アクターズ 国際ナショナル・スタディーズ 統計実習 Social Media Research Cross-cultural Psychology 異文化コミュニケーション研究A 異文化コミュニケーション研究B 専門演習 I 専門演習 II 専門演習 III 卒業研究 I 卒業研究 II			2 2 2 2 ② ② ② ② ④		
英語教師養成科目	1967 英語科教育概説 I 1969 英語科教育概説 II 現代英語の音声と文法論 第二言語習得指導 児童英語教育実践 英語科教育概説 II インタラクション活動指導法	2	2	2 2 2 2		江口均 松田寿一	集中講義
養成科目	日本語教授法 I 日本語教授法 II 日本語教授法 III Japanese Literature Japanese Culture		2	2 2 2 2			日本語教授法 I, II 双方修得すること 日本語教授法 I, II を修得していること
Practical English Skills	Creative Writing I Creative Writing II Public Speaking Presentation Skills 通訳法 I (文) 通訳法 II (文) 通訳法 III 通訳法 IV 翻訳法 AI 翻訳法 BI 翻訳法 AII 翻訳法 BII 通訳法 III 通訳法 IV Oral Interpretation I Oral Interpretation II English Workshop A (TOEFL対策) English Workshop B (TOEIC対策) Online English English for Tourist Industry English for Global Business Speech Clinic Multi-Media English Journalism English			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			☆ ☆ ☆ ☆ 通訳法 I, II を修得していること 通訳法 I, II を修得していること 翻訳法 I, II を修得していること 翻訳法 I, II を修得していること

注 網かけのある科目は履修（人数）に制限があり、オリエンテーション時に事前登録が必要。

注 原則として I, II のように番号のある科目については、I から連続して履修すること。

注 教職課程を履修する者は、英語科教育法 I（3年次前期）の履修までに英語コミュニケーション概論または英語科教育概説 I のいずれか 1 科目を履修済みであることが望ましい。

注 Japanese Literature は国際交流科目の日本の文学〔国際〕と、Japanese Culture は国際交流関係科目の比較文化〔国際〕と同じ授業であるため、それぞれ一方を履修または修得した場合はもう一方を履修または修得することはできない。

☆ネイティブ教員が英語で教える科目



2. 卒業に必要な単位

1. 大学共通科目

39～47ページを参照のこと。

(A) 大学共通科目¹

大学共通科目は、人間科学、人文科学、自然・数理科学、社会科学、地域と世界、キリスト教、キャリア支援、外国語からなる。

- (1) 人間科学
この分野から2単位以上を修得すること。
- (2) 人文科学
この分野から2単位以上を修得すること。
- (3) 自然・数理科学
この分野から2単位以上を修得すること。
- (4) 社会科学
この分野から2単位以上を修得すること。
- (5) 地域と世界
この分野から2単位以上を修得すること。
- (6) キリスト教
この分野から4単位以上を修得すること。ただし、聖書の思想と文化Ⅰ及びⅡか、又はキリスト教の歴史Ⅰ及びⅡのいずれかをセットで修得すること。
- (7) キャリア支援
キャリア教育科目から、学びとキャリア形成1科目2単位を修得すること。日本語科目から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせた、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。
なお総合講義に関しては、修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (8) 外国語
1 ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。
2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定²](#)」の頁を参照すること。
3 自分が選択した言語8単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。
- (9) (1)～(8)までの上記で修得すべき単位32単位以外に6単位以上を修得すること。

2. 外国語科目の単位認定

165・166ページを参照のこと。

(B) 学科専門教育科目

文化・文学コース専攻、言語・コミュニケーションコース専攻、グローバル・スタディーズコース専攻とも、以下の要領で履修し合計80単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『Core English Skills (CES)』から必修30単位を修得すること。
- (2) 『コース入門科目』は、必修の基礎演習Ⅰ・Ⅱ2科目4単位に加えて概論科目から10単位を修得すること。
- (3) 『コース専門科目(所属コース)』
各自が所属するコースから必修14単位を含め22単位を修得すること。
- (4) (2)・(3)で修得していない『コース入門科目』『コース専門科目(自分の所属しないコース専門科目も含める)』の科目の中から『英語関連活動』『英語教師養成科目』『日本語教師養成科目』『Practical English Skills』の中から、14単位を修得すること。
- (5) 2年次の終わりに、3年次から所属する専門演習への振り分けを行う。4年次において専門演習を変更することは原則として認めない。
- (6) 原則としてⅠ、Ⅱ(Ⅲ、Ⅳ)のように通し番号のある科目についてはⅠから連続して履修すること。特段の事情のある者は学科長又は、科目担当者に相談すること。
- (7) 海外短期英語研修及び海外短期研修(A)(B)の履修登録は、参加申込みをもって代える。海外

研修の参加とそれに伴う課題提出により単位修得ができる。ただし、海外短期英語研修および海外短期研修(A)(B)クラスは、事前調査を行い履修希望者が少ない場合は開講しない。

- (8) Basic Speaking I・II及びAcademic Communication I・IIについては、週に2回の授業を受けなければならない。
- (9) 「3. スクリーニング」には、3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件が記載されているので、必ず確認すること。

(C) その他

- (1) 『大学共通科目』及び『Core English Skills (CES)』『コース入門科目』『コース専門科目』『英語関連活動』『英語教師養成科目』『日本語教師養成科目』『Practical English Skills』で修得すべき単位118単位以外に必要となる14単位は、以上の修得すべき単位118単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、文学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目¹から算入できる。
- (2) ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目から算入できるのは8単位までである。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。
- (3) 他学科専門教育科目は51ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。
- (4) 副専攻科目²については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。
- (5) この(A)(B)(C)のことについて、「(D)卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

1. 文学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目
48～57ページを参照のこと。
2. 副専攻科目
183～190ページを参照のこと。



(D) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数				
		必 修	選 択			
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学		2 単位	} 6 単位	}	
	人 文 科 学		2 単位			
	自 然 ・ 数 理 科 学		2 単位			
	社 会 と 科 学		2 単位			
	地 域 と 世 界		2 単位			
	キ リ ス ト 教 学		4 単位			
	キャリア支援	総 合 講 義				
		キ ャ リ ア 教 育	2 単位			
		日 本 語 科 目	4 単位			
		情 報 科 目	2 単位			2 単位
外 国 語		8 単位				
計		8 単位	24 単位	6 単位		
学 科 専 門 教 育 科 目	Core English Skills	30 単位		} (注1) 14 単位	}	
	コ ー ス 入 門 科 目	基 礎 演 習	4 単位			
		概 論 科 目				10 単位
		英 語 関 連 活 動 (注3)				
	コ ー ス 専 門 科 目 (所属コース)	14 単位	8 単位			} (注2) 14 単位
	英 語 教 師 養 成 科 目					
	日 本 語 教 師 養 成 科 目					
	Practical English Skills					
計		48 単位	18 単位	14 単位		
文学部他学科専門教育科目						
他学部他学科専門教育科目						
国際交流関係科目						
副 専 攻 科 目						
計		56 単位	42 単位	20 単位	14 単位	
合 計		132 単位			14 単位	
					38 単位	
					80 単位	
					14 単位	
					132 単位	

(注1) この14単位数に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位数までである。

(注2) この14単位数に、所属外コース専門科目を含む。

(注3) 「英語関連活動」から卒業単位数に算入できるのは8単位数までとする。



3. スクリーニング

(3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件)

2年次終了までに、下記の条件を満たしていないときは、3年次以上に配当された専門教育科目及び教職に関する科目の履修はできない(大学共通科目及び下記で履修を認められた専門教育科目は履修することができる)。

次の(1), (2), (3), (4)を含み50単位以上を修得していること。

- (1) 基礎演習Ⅰ, 英文法クリニックの4単位
- (2) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ, フランス語Ⅰ・Ⅱ, 中国語Ⅰ・Ⅱ, 韓国語Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目の4単位
- (3) Basic SpeakingⅠ・Ⅱ, Basic ReadingⅠ・Ⅱ及びBasic CompositionⅠ・Ⅱの12単位
- (4) 上記の(1), (2), (3)の他, ドイツ語Ⅲ・Ⅳ又はフランス語Ⅲ・Ⅳ又は中国語Ⅲ・Ⅳ又は韓国語Ⅲ・Ⅳ, Academic CommunicationⅠ・Ⅱ, Academic ReadingⅠ・Ⅱ及びAcademic EssayⅠ・Ⅱ基礎演習Ⅱ計9科目のうち, 6科目以上修得していなければならない(ただし5科目修得した者はコース専門科目を除く3年次専門教育科目を履修することができる)。